学校番号	１０３

令和２年度　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校改訂版　「現代社会」　（数研出版）						
副教材等	２０２０ズームアップ現代社会資料　（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

教科書・資料集だけでなく、日々のニュースに常に関心を持ち、社会や人間について理解を深め、主体的に意見を持ち、公正な判断ができているかを検証するようにする。

２　学習の到達目標

人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて，広い視野に立って，現代の社会と人間についての理解を深めさせ，現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い，良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に対する関心を高め，意欲的に課題を追究するとともに，社会的事象を総合的に考えようとする態度と民主的・平和的なよりよい社会の実現に向けて参加，協力する態度を身に付け，現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄から課題を見いだし，社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察するとともに，社会の変化や様々な立場，考え方を踏まえ公正に判断し，その過程や結果を適切に表現する。	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し，有用な情報を主体的に選択し活用して学び方を身に付ける。	現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方にかかわる基本的な事柄や，学び方を理解し，その知識を身に付けている。
評価方法	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	私たちの生きる社会①地球環境問題	・地球環境問題について，よりよい社会を築くために解決しなければならない問題として考える。 ・地球環境問題が国際的な問題となっていることや，その解決に向けての取り組みについて理解する。 ・絶滅の危機にさらされる野生生物の保護を国際社会がどのように行っているのかを考察して説明できる。	○	○ ○		○ ○ ○	a：先進国と発展途上国，現在の人々と将来の人々との世代間においてさまざまな立場・観点があることを整理し，議論や発表ができる。 b：持続可能な社会の形成のため，環境にかかわる課題を考察することを通して，幸福，正義，公正など社会のあり方を考察する基盤を理解できる d：地球温暖化など地球環境問題と生物多様性の危機について理解できる。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査
	②資源・エネルギー問題	・資源の有限性について理解を深め，限りある資源をどのように活用するのか、循環型社会を形成するにはどのように手法があるのか、石油に代わる資源がどのように開発されているのかを考察して説明できる。 ・エネルギー政策を見直すとともに，新エネルギーの現状と将来について考え，毎日の生活を見直し，省エネルギーに努めることが重要であることを理解する。 ・資源エネルギー問題への考察を通して，幸福，正義，公正など社会のあり方を考察する基盤を理解する。	○	○ ○	○ ○	○ ○ ○	a：資源・エネルギー問題にかかわる課題を考察できる。 b：課題を考察することを通して，幸福，正義，公正など社会のあり方を考察する基盤を理解できる。 c：持続可能な社会・循環型社会の形成のため，市民・消費者や事業者，自治体などさまざまな立場・観点があることを整理し，議論や発表ができる。 d：資源・エネルギー問題について理解できる。	

	③科学技術の発達と生命倫理	・科学技術の発達は，社会や生活をどのように変えてきたかを考え，理解する。 ・医療の発達により，人類がはじめて直面する問題が生じていることを，具体的事例をあげて考察する。 ・生命科学の発達の歴史について理解するとともに、技術と倫理の両面から新しい技術に対する態度や私たちに求められていることを考察できる。 いての知識を身につける。 ・生命にかかわる課題の考察を通して，幸福，正義，公正など社会のあり方を考察する基盤を理解する。	○ ○ ○	○ ○ ○	○	○ ○ ○ ○	a：生命にかかわる課題を考察するとともに、自分ならどうするかを考えることができる。 b：幸福，正義，公正など社会のあり方を考察する基盤を理解できるとともに、技術と倫理のかかわりについて考察できる。 c：人類の福祉の増進のため，科学技術をどのように活用していくべきかを考察し，科学技術の進歩が従来の倫理観にどのような影響を与えているか議論や発表ができる。 d：生命科学やバイオテクノロジーがどのように進展しているかを理解できる。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査
	④高度情報社会と生活	・高度情報社会とは何かを理解し，情報化の進展が社会に及ぼす影響について考える。 ・情報の活用や情報にかかわる諸課題を考察させることを通して，幸福，正義，公正など社会のあり方を考察する基盤を理解する。	○	○ ○	○ ○	○	a:情報社会の発展と身近にある技術の活用について考察することができる。 b：高度情報化社会における情報にかかわる課題を考察することを通して，幸福，正義，公正など社会のあり方を考察する基盤を理解できる。 c：情報通信技術をどのように活用していくべきかを考察するとともに，人々の多様な価値観を背景に生じる衝突や対立，社会的な課題について整理し，議論や発表ができる。 d：インターネットや携帯電話の普及など，通信技術の進展とそれにともなう社会の急速な変化について理解できる。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査

	青年期と自己の形成①青年としてのあり方生き方	・青年期とはどのような時期であるかを自己の体験を踏まえて理解することができる。 ・青年期の課題とパーソナリティ確立に関して、心理的側面に着目しつつ考察し、自らを対象化して説明できる。 ・自己実現と社会参加について、現代社会における男女のあり方の変化と含めて考察し理解できる。	○	○	○ ○	○ ○	a: よりよく生きることについての自覚を深められる。 b: 自己形成の課題について考察できる。 c: 自らの生きがいや進路について発表できる。 d: 青年期は自立や自律をはかる重要な時期であることを理解できる。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査
	②先人の生き方考え方　生きることと考えること・宗教	・古代ギリシャにおける各種の思想とその概要について理解するとともに、思想が社会に与えた影響について考察し説明することができる。 ・世界の宗教が人々に与えた影響について理解し、現代における宗教組織の区分から地域社会に与える影響を考える。 ・世界宗教と中国の思想から、宗教とは何か、思想とは何かを考察し、自らの視点を発表し、他者に説明することができる。	○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	a: 先哲の思想や生き方から自分自身の生き方を検証できる。 b:思想や生き方から自分自身の生き方に参考にできるところはないか考察できる。 c:宗教組織の区分と思想の広がりについて考察し、与えた影響について議論できる。 d: 古代・中世・近世・近代の世界の思想家の思想内容が理解できる。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査
	科学的精神と人間の尊厳	・科学革命と経験論・合理論の内容について理解する。 ・哲学者や科学者の思想からヨーロッパが科学技術発達を達成したことを理解するとともに、思想が科学技術発展に与えた影響について説明できる。 ・民主主義と幸福・自由の関係について考察し、現代社会の抱える課題と結びつけて説明できる。	○ ○	○ ○	○	○	a:思想が科学に与えた影響について気付くことができる。 b:思想の影響について考察するとともに、ヨーロッパが科学技術発展を達成した理由について考察できる。 c:民主主義と幸福・自由の関係について考察したうえで、現代社会の課題について発表できる。 d:科学革命と思想理論の内容と影響について理解できる。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査

	③日本の伝統思想と生活文化	・日本の風土と伝統的な信仰、年中行事について理解することができる。 ・仏教の需要など外来思想が日本国に与えた影響について考察して説明することができる。 ・明治時代以降の西洋思想の受容と日本の近代化のかかわりを説明し、現代日本に与えた影響を考察できる。 ・日本と国際社会のかかわりについて、自分のできることは何かを考え発表できる。	○	○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a:年中行事や伝統的信仰が生活文化や風土とかかわることに気づく。 b: 生活文化や伝統が自分の生き方に与えている影響について考察できる。 c:西洋思想の需要が日本に与えた影響について考察し議論・発表できる。 d: 古代・中世・近世・近代の日本の思想家の思想内容が理解できる。	
	個人の尊重と法の支配	①民主政治における個人と国家 ・私たちの生活と政治や国家のかかわりについて関心を高め，国家はどのような考え方を背景につくられたのかを理解する。 ②基本的人権と法の支配 ・基本的人権が保障されるにいたった経緯を，さまざまな情報手段で資料を収集し，具体的事例をあげて考察し，理解する。 ③世界のおもな政治体制・世界のおもな政治体制について，真の民主政治の実現と関連させて考察する。	○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○ ○	a: 民主政治が私たちの生活とかかわっており，民主社会に主体的に生きる人間のあり方生き方について思索を深められる。 b: 民主政治における国家と個人のあり方が考察できる。 c: 法などの社会規範の役割が理解でき，日常生活と関連づけて考察できるとともに、各国間の事情の違いついてレポートを作成する。。 d: 民主政治のあゆみが理解できる。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査

2	現代の民主政治と政治参加の意義	①日本国憲法の基本原理 ・日本国憲法の成立過程や明治憲法との比較，天皇の地位の変化，日本国憲法の三つの基本原理について主体的に理解する。 ②平和主義と安全保障 ・日本国憲法の平和主義の特色を理解するとともに，平和主義と日本の安全保障について，さまざまな情報手段を活用し，レポートをまとめる。 ・日本国憲法の平和主義の特色と自衛隊，日本の安全保障については，さまざまな立場からの意見があることを理解する。 ③基本的人権の保障と新しい人権 ・自由権の意味や，社会権が私たちの生活をどのように変えたのか，新しい人権とは何かをさまざまな立場にたって考察する。	○

		⑦地方自治と住民の福祉 ・地方自治に住民はどのような権利をもっているか，また，地方自治のもつ課題について，自分自身の問題として具体的に考察する。 ・地方自治に住民はどのような権利をもっているか，地方自治のもつ課題について，自分自身の問題として理解し，その知識を身につけている。 ⑧世論形成と政治参加 ・政党の役割，選挙のしくみ，世論の形成について，さまざまな情報手段を活用して，調査する。	○ ○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a：住民投票など身近な地域で行われている例を調べ，報告できる。 b：行政機能が拡大している現状を理解し，その是非と住民とのかかわりについて主体的に考察できる。 c：世論の与える影響とその操作について考察し、その問題点について議論することができる。 d：地方自治の現状と課題が理解できる。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査

	国際政治の動向と日本の役割	①国家主権と国際法 ・国際法の意義と役割を多面的に考察し理解する。 ②国際連合の役割 ・勢力均衡と集団安全保障体制の違いについて考え国連の役割と課題について理解する。 ・国際連合の役割と課題について，インターネットなどを用いて調査しそれらをもとにまとめる。 ③今日の国際社会 ・第二次世界大戦後の国際社会と冷戦終結前後の国際社会の状況について，年表を使って整理し，理解する。 ④核兵器の廃絶と国際平和 ・核兵器を廃絶するには何が必要かを考え，核兵器の開発・拡散の状況,廃絶するためのさまざまな取り組みについて，具体的事例をあげて多角的に考察する。 ・核兵器の問題についての知識を身につけ，それを廃絶するために何をしなければならないかを理解する。	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:国際社会の変化が私たちの暮らしにどのような影響を与えたのかについて気付く。 b: 国際連盟・国際連合の組織と役割が理解でき,国連の現状と課題について考察できる。 c:核兵器の廃絶と集団的安全保障のかかわりについて考察し、その構造について議論・発表できる。 d: 国際法の意義や国際紛争を解決する機関の役割が理解できる。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査

3		⑤地域紛争と人種・民族問題 ・なぜ人種や民族の違いにより争うのかを主体的に考え，人種・民族紛争の実態難民問題を理解し、さまざまな情報手段を用いて収集し，それらをもとに整理・発表する。	○	○	○	○	a: 民族紛争や難民問題など国際政治問題について関心を日常から持っている b: 留学生や国際 NGO と接した体験に基づき、国際化を身近に体験し，国際社会の諸問題について判断できる。 c: 国際社会の中で平和主義を掲げる日本の役割が認識でき，国際問題について自分なりの意見を持ち，他者に説明できる。 d:戦後冷戦構造とその終了後頻発した民族紛争の構造とその変化について理解できる。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査
		⑥国境と領土問題 ・国境と領土問題や日本の領土問題について，教科書の写真・地図を使用して理解する。 ・国境と領土問題，特に日本の領土問題についての知識を身につける。 ⑦外交政策と日本の役割 ・国際社会における日本の役割や，国際社会の一員として私たちは何をすべきかを考える。 ・国際社会の一員として何をすべきかを理解する。	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○	a:領土問題と外交問題が私たちの生活に与える影響に気づく。 b:外交政策が日本や周辺の国々に与える影響を考察し、国際社会の一員として活躍する重要性に気づく。 c:国際社会の一員として日本が果たすべき役割について議論し発表できる。 d:日本の領土問題とその背景について理解できる。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。